

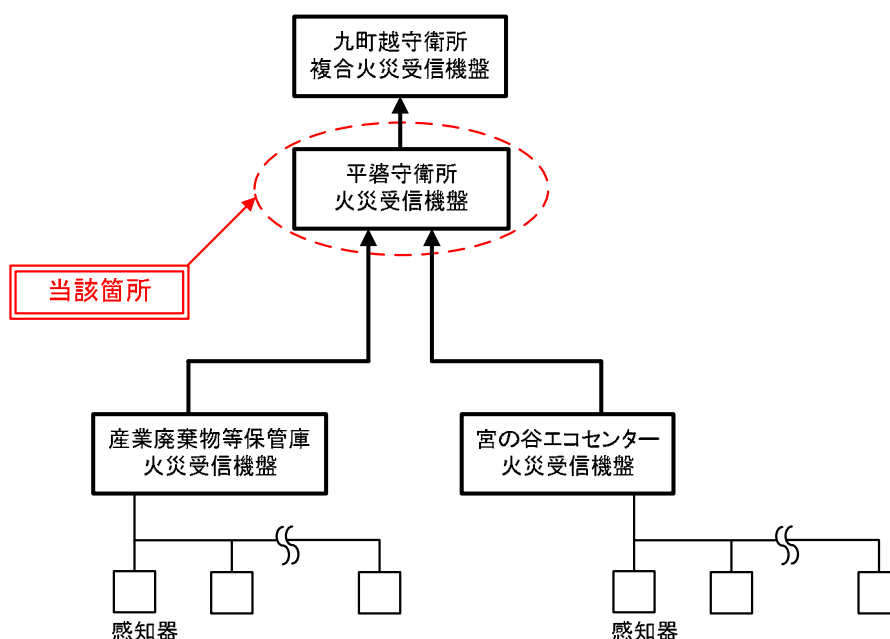
伊方発電所における通報連絡事象の概要（平成27年6月分）

1. 伊方発電所 平瀬守衛所の火災受信機盤の不具合について

6月8日4時29分、伊方発電所の九町越守衛所において、平瀬守衛所付近にある焼却設備の火災発生等を示す信号が発信したため、現場を確認したところ、火災は発生していませんでした。

調査の結果、平瀬守衛所の火災受信機盤が故障していることが確認されたため、故障した火災受信機盤を新品に取り替えて、同日20時20分に通常状態に復旧いたしました。

伊方発電所 平瀬守衛所火災受信機盤 信号概略図



2. 伊方発電所3号機 海水淡水化装置のRO高圧ポンプの軸シール部の海水飛散防止カバーの損傷について

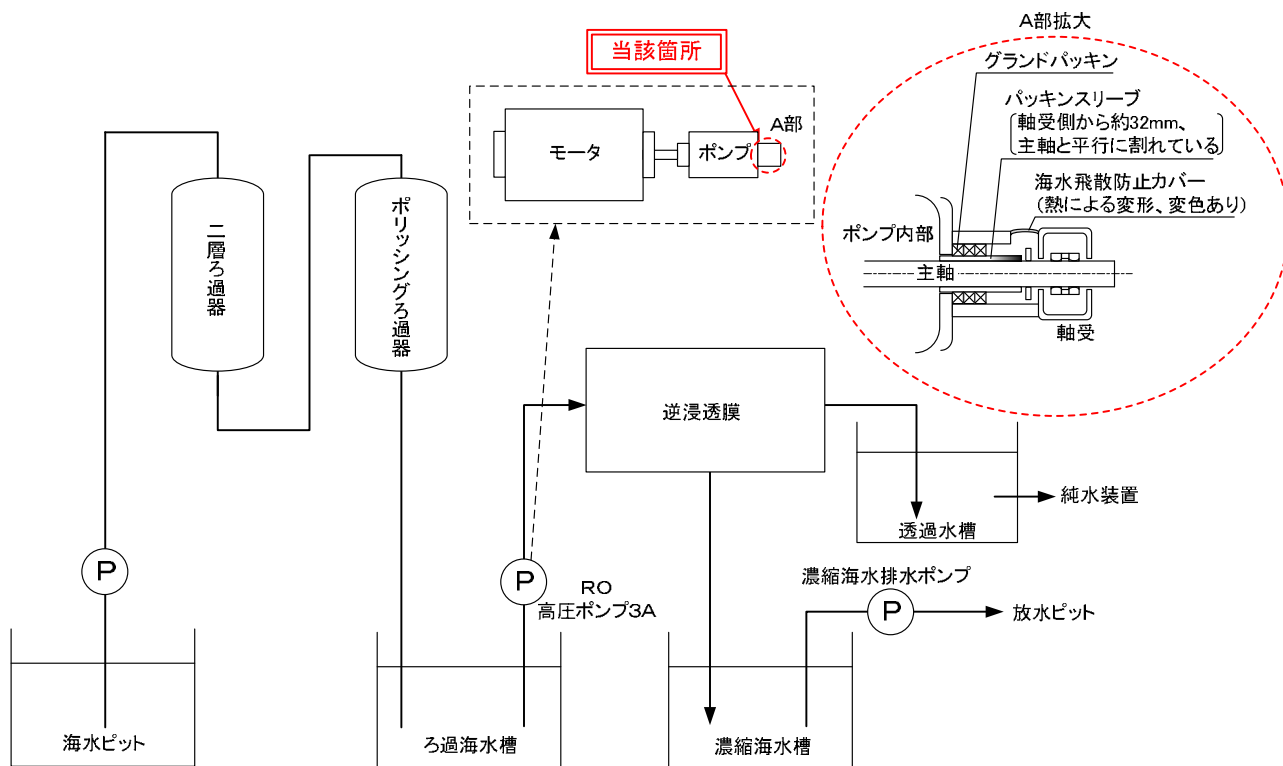
6月19日、定期検査中の伊方発電所3号機の海水淡水化装置において、運転中のRO高圧ポンプ 3A号機の軸シール部の海水飛散防止カバーが外れていることを発見したことから、RO高圧ポンプA号機を停止し、同日16時40分頃、同ポンプ軸シール部の海水飛散防止カバーが損傷していることを保修員が確認しました。

その後、同ポンプ本体を点検したところ、パッキンスリーブが主軸と平行方向に割れているのを確認しました。

今後、損傷の原因について詳細に調査いたします。

海水淡水化装置の逆浸透膜（RO膜）に海水を高圧で送水するポンプ。逆浸透膜は、海水をろ過して淡水を作り出すもの。

伊方発電所3号機 海水淡水化装置 概略系統図



3. 伊方発電所 コンテナ式ホールボディカウンタの発電機用燃料タンクからの油の漏えいについて

6月23日16時50分頃、伊方発電所の屋外84mパノラマ館付近（管理区域外）において、原子力防災用資機材として保管中のコンテナ式ホールボディカウンタの発電機用燃料タンク下部より燃料油（軽油）が漏えいしていることを確認しました。漏えいした燃料油は、当該燃料タンク周辺にとどまっております、排水溝への流出はありませんでした。なお、燃料油の漏えい量は、約7リットルであり、拭き取って回収しました。

その後、当該燃料タンクを取り外して調査した結果、側面の下部溶接部より軽油が漏えいしていることを確認いたしました。

今後、詳細に調査いたします。

体内の放射性物質を体外から計測する装置。作業員等の内部被ばくによる線量を確認するために使用する。なお、コンテナ式ホールボディカウンタは、原子力災害時に伊方発電所外での使用を目的に可搬型のコンテナ式にしており、自立活動できるよう発電機を装備している。

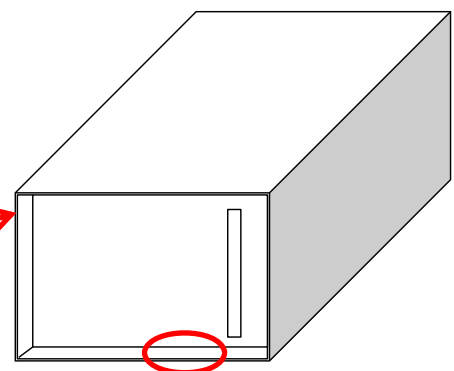
伊方発電所 コンテナ式ホールボディカウンタ



発電機

燃料タンク

燃料タンク概略図



漏えい箇所

4．伊方発電所1、2号機 放水口水モニタの指示上昇について

6月30日23時00分、伊方発電所1、2号機放水口水モニタの有意な指示上昇を示す「10分平均注意」の信号が発信しました。

当時、発電所周辺は雨が降っていたこと、同日23時15分に放水口内の海水を採取して分析した結果、人工核種は検出されなかったことから、降雨による自然変動と判断しました。

(参考)伊方発電所1、2号機放水口水モニタ

伊方発電所1、2号機放水口内の海水の放射線量を測定しているモニタ。3号機にも同様の放水ピット水モニタがある。